

平成 23 年社会生活基本調査に関する研究会（第 2 回）議事概要

日時：平成 22 年 7 月 21 日(水) 14:30～16:30

場所：総務省統計局 6 階 特別会議室

- 議題：(1) 平成 23 年社会生活基本調査の調査票について
(2) 平成 23 年社会生活基本調査の集計の基本方針について
(3) その他

出席者：廣松毅座長、勝浦正樹委員、武石恵美子委員、津谷典子委員、水野谷武志委員、中垣陽子委員、
稲橋代治東京都総務局統計部人口統計課課長補佐（小幡人口統計課長代理）、
駒形統計調査部長、千野調査企画課長、栗原労働力人口統計室長、佐藤主任研究官、三神社会生
活基本調査担当課長補佐、三川審査発表第二係長、高野研究分析係長、永井企画指導第二係長

議事内容：

- (1) 平成 23 年社会生活基本調査の調査票（案）について事務局より説明の後、意見交換
研究会で出された意見等を踏まえ、次回に向けて、事務局において、調査実施上の観点も踏まえてさ
らに精査することとなった。

【主な意見】

<個人の年間収入について>

- ・世帯収入の階級よりもなぜ細かくなっているのか。拒否感が強いということであれば、階級をもう少し大きくりにしてはどうか。
- ・女性の収入については、かなり低所得の部分もあり、案程度には詳細に把握してほしい。
- ・詳細に聞くことが可能なのであれば、できるだけ詳細な方がよい。
- ・収入は仕事からのものだけでもよい。
- ・個人収入と世帯収入の重複感をなんとかできないか。

<有給休暇の取得日数について>

- ・有給休暇については 1 年間の捉え方で、過去 1 年について聞くということだと、途中で仕事を辞めた人をどうするかなど、整理しないといろんなものが混在したデータになってしまう。
- ・1 年間さかのぼって聞くのは、回答が難しいので、「昨年度」などとし、昨年度働いていなかった人は分けられるようにしてはどうか。また、アンケートをみると、余りに取得日数の多い人がいるが、これは、休日も入れてしまっているのではないか。「年次有給休暇」とした方がより明確になるのではないか。

<仕事と生活の時間配分の満足度について>

- ・満足度を聴いても、具体性を欠くので、別紙のように時間を増やしたいか、減らしたいかを聴く案の方がよい。アンケート結果で、仕事時間をもっと増やしたいという女性が多いことには興味を持った。仕事に絞って、増やしたいか、減らしたいかを聞く。その場合、有業者についてのみ聞くのではなく、働いていないが就業意欲が高い女性なども含めて全員に聴けないか。できれば、希望就業時間のよう
な形で聴ければよいが。
- ・満足度を聞くのではなく、増やしたいか、減らしたいか、現在のままで良いかとストレートに聞くのが良いのではないか。ただ、仕事の時間と仕事以外の時間の両方についても聴く場合、両方増やしたいという回答をどう解釈するかという問題もあるので、聴くのは仕事の時間についてだけでよいのではないか。
- ・本来働きたいと思っている人が働くことができれば、女性の M 字カーブは解消できるといった分析もしているが、その際にどのくらい働きたいのかがわからないと指摘されることが多い。就業希望時間を調査することができれば、働きたいという希望の度合いがわかるようになるので、望ましい。

- ・就業希望時間を聞くと言うのも良いとは思いますが、「仕事以外の時間」についても知りたいという気持ちはある。ただし、調査票のスペースには限りがあり、悩ましいところである。
- ・増やしたいか、減らしたいかという聞き方をした時に、「現在のままで良い」という人が「満足している」とみなせるような対応関係が取れる設問方法にできないか。

<健康状態について>

- ・現在は有業者のみになっているが、全員に聞いた方が良いのではないか。
- ・健康状態については、労働時間や睡眠時間との関係、あるいは所得との関係の分析などが考えられ、WLBの分析をする上で健康に関する設問は必要。
- ・国民生活基礎調査の健康票のような詳細な質問項目があり、全体のスコアで判断できるものであれば良いが、本人の判断に任せて漠然と聞くのであれば、中途半端なものとなり、分析にも使えない。社会生活基本調査で聴く必要があるのかという気はする。
- ・「基本計画」で指摘されている事項であり、残した方がよいとは思いますが、フィジカル、メンタルともに含むのであればそれをどう定義し、記入者にどう説明するか、工夫が必要となる。

<国籍について>

- ・第3次男女共同参画計画でも外国人女性の実態把握を検討しており、今回、追加はできないというのはやむを得ないと思うが、今後検討していただきたい。

<育児の手助けについて>

- ・「手助け」という言葉からは、ベビーシッターのような市場サービスが含まれるとは想像できない。ここで、そのような市場サービスを含むのであれば、工夫が必要。また、区分としても市場サービスと無償のもの（友人や知人に見てもらおうなど）は分けるべきではないか。

- (2) 平成23年社会生活基本調査の集計の基本方針（案）について事務局より説明の後、意見交換ご意見があれば、メール等で事務局に頂くこととし、これらの意見等を踏まえ、次回に向けて、事務局においてさらに精査することとなった。

【主な意見】

- ・HETUSとの対応を考慮して、分類を詳細にすることは非常にありがたい。資料では、HETUSの中分類との対応を考えているので、それで問題ないとは思いますが、実際にはEU諸国でも中分類できちんと使っている国は少なく、HETUSのデータベースでは、更に大きくくりにした49の分類を使用しているため、そことの対応関係も見ておくとよい。HETUSの49分類で、英語で公開されることになれば、国際比較性はかなり向上すると思う。

以上